

動物園でも増やしています

鋼路市動物園でシマフクロウを見ることができます。
1997年に初めて飼育下での繁殖に成功しました。翌98年には人工孵化にも成功しました。（*人工孵化とは、親鳥のかわりにヒトが卵をかえすことです。）



1999年に生まれたヒナと両親



おとうさん
と
おかあさん
ヒナ

Ketupa blakistoni

これ以上減らさないために・・・

天然にわずかに残された
巣のある木

こんな大きな木のほとんどは →
すでに切り倒されてしまいました。



そこで、不足している大木のかわりに巣箱をかけて子育てを支援しています。設置した巣箱の数は170個を超え、その多くが使われています。（2004年現在）

シマフクロウの保護活動は20年以上の歴史があります。



食料不足を補うために、8家族の生息地で池を作って魚を放し飼いにしています（2004年現在）。ひと家族をひと冬養うのに300～600kgもの魚が必要です。